

平成30年度山梨県南都留地域教育フォーラム提案書

第6分科会

都留文科大学 地域交流研究センター

担当教員 堤 英俊（学校教育学科）

『インクルーシブな地域づくりへのささやかな挑戦』

—つるぶん“クロボ”の4年間—

1. “クロボ”とは

“クロボ”は、“クロスボーダー・プロジェクト”の略称で、都留文科大学 地域交流研究センター主催の知的障害・発達障害の子どもたちの週末の居場所と学びの場づくりの活動。

⇒学校教育の活動ではなく、社会教育の活動。

開催日：前期（5月～7月）と後期（10月～12月）に、月1回土曜 10:00～15:00

子ども：毎回25名程度（小学生～高校生、ほぼメンバーは固定）

⇒ 約半分は特別支援学校、約半分は通常の学校に通学。

ボランティア：学生（学科問わず）、大学教員、卒業生（現職教員など）、一般市民（学童指導員、福祉事業所の職員など）が、ボランティアスタッフ（学生を含む）として、50名程度が参加。

2. きっかけ：地域のニーズから

2014年4月（着任早々）に堤宛てに届いた、富士五湖地域の発達障がいの子を持つ親の会「ぶどうの会」代表からの一通の手紙。

「学生に、週末の子どもたちの相手をしてもらえないか？」

⇒ 週末に自宅でゲーム漬けになってしまう。

⇒ 居住地域に遊び・活動仲間がない（いじめを受けた過去など）。

⇒ 親同士の交流の場や障害や進路などについて相談できる機会がほしい。

⇒ 「いこいのひろば」は成人が対象で、子どもが参加できない。

「ぶどうの会」のメンバーとの約半年間の協議・準備期間を経て、都留市内の団体であるNPO法人「おもちゃ図書館はばたき」にも声をかけ、両団体と連携協定を締結し、2014年11月から活動をはじめた。当初は、初等教育学科（現 学校教育学科）の堤ゼミを基盤に細々とはじめた。

3. 立ち上げるにあたり、参考にした先進事例

① 神戸大学大学院人間発達環境学研究所 ヒューマン・コミュニティ創成研究センター 障害共生支援部門 「あーち」居場所づくり

⇒インクルーシブな社会の形成に向けて、障害、年齢、国籍、性別、職業などに関わりなく、さまざまな人たちが自由に入出入りし、相互に関わりあい、学びあう活動

⇒毎週金曜午後

⇒活動内容は、遊びとコミュニケーション（自由遊びを中心に、造形、音楽、身体表現、観劇など）



② 都留市いきいのひろば実行委員会 「いきいのひろば」

⇒障害の有無に関係なく、地域に住む人たち全員が楽しく充実して過ごせることをめざした活動

⇒障害福祉サービス事業所で働く方からの「障害のある人々への余暇活動支援」を求める声からスタート

⇒月1回日曜日（年間10回）、いきいきプラザ

⇒市民スタッフ、都留文科大学ボランティアサークル IKI、都留市社会福祉協議会などで協働しながら運営

⇒活動内容は、文化・スポーツ・レクリエーションなど

4. クロボのコンセプト

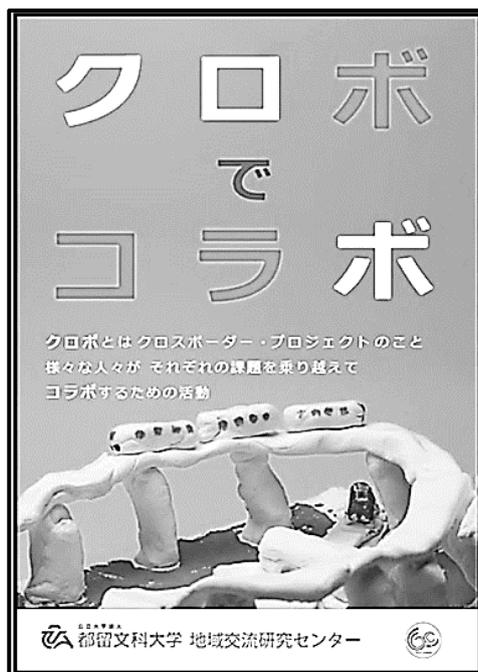
- ・ 健常／障害の境界を越える：クロスボーダー



- ・ 大学学内の教職員や地域の市民や諸団体と連携しながら（巻き込みながら）活動をつくる：コラボ

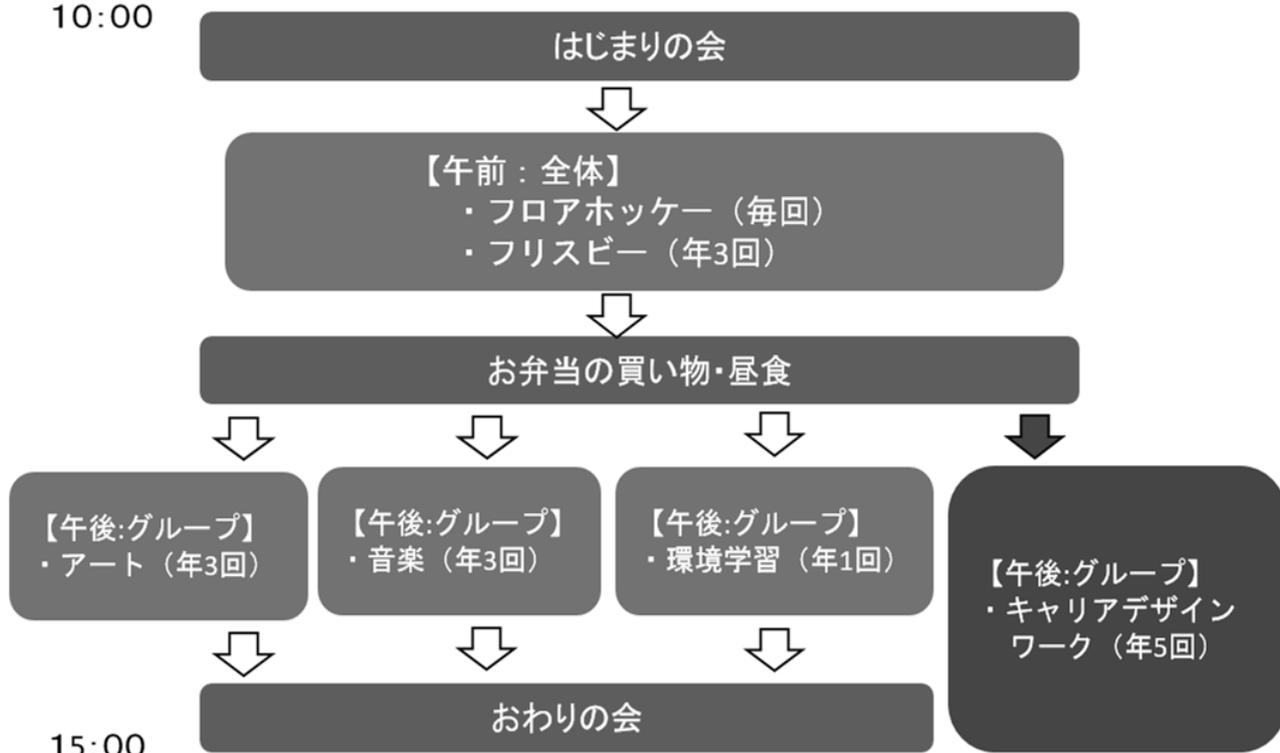


“クロボ（クロスボーダー・プロジェクト）”と命名



5. 1日の活動の流れ

10:00



※ボランティアスタッフは、9時10分集合、17時解散

※各活動には、学内の先生方（学校教育学科の系の先生方）や地域の団体（認定NPO法人「スペシャルオリンピックス日本・山梨」など）が関わっている

※市民ボランティアについては、現在、フロアホッケーのみの募集に限定

6. クロボの年間予定（2018 年度）

<前期>

- | | | |
|-----------|------------|-----------------|
| ①5月19日（土） | 午前：ホッケー | 午後：キャリア、ことば、アート |
| ②6月16日（土） | 午前：ホッケー、運動 | 午後：キャリア、ことば、アート |
| ③7月21日（土） | 午前：ホッケー、運動 | 午後：キャリア、音楽 |

<後期>

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| ①10月20日（土） | 午前：ホッケー | 午後：キャリア、音楽 |
| ②11月10日（土） | 午前：ホッケー、キャリア | 午後：キャリア、環境 |
| 11月11日（日） | 午前：キャリア | 午後：キャリア ※特別回 |
| ③12月8日（土） | 午前：ホッケー、運動 | 午後：音楽、アート |

7. 近年の変化：クロボボランティアの授業化

- ・2017年度より、初等教育学科（現 学校教育学科）に特別支援学校教員免許の課程が開設され（基礎免許は、小学校教員免許）、当該免許の取得を希望する学生は、必修授業として、クロボのボランティアを体験することになった。
- ・2019年度から、学校教育学科の特別支援学校教員免許を取得しない学生（2年以上）も、選択授業として、クロボのボランティアを体験できることになる予定。

※従来どおり、授業としての参加ではなく、純粋なボランティアとして参加することも可能

8. 子どもメンバーの募集

随時、募集している。

<参加にあたって希望者にお伝えしていること>

- ・ 原則、ほとんどの日程に参加可能な小学生・中学生・高校生
- ・ グループ分け等については、相談の上で決定
- ・ 一度体験参加していただいた上で、相談を行い、メンバー登録（以後、年度更新）
- ・ 参加費は無料（なお、昼食代 500 円持参）
- ・ 持ち物：飲み物、体育館シューズ、お財布、バッグ、動きやすい服装
- ・ 保険については大学で一括して入る